

新生「中泊町」の飛躍をめざして



中泊町長  
職務執行者  
加藤 久宜

3月28日、豊かな大地に恵まれ、農業を基幹とする中里町と、雄大な日本海に臨み、豊富な水産資源と観光資源を持つ小泊村がひとつになり「中泊町」が誕生しました。

平成16年6月の法定協議会設置から本年3月までの9カ月間に、12回の合併協議を積み重ね、平成16年12月に青森県知事の廃置分合の決定、平成17年1月に総務大臣告示等と関係各位のご尽力とご協力により合併を迎えることができましたことに對し、心から感謝申し上げます。

新生「中泊町」のまちづくりの将来像「大地の恵みと海の幸 心ひとつに希望のまち」を実現させるため、農業の町と漁業の村がそれぞれの特性を活かし、創意と工夫による個性豊かで、活力に満ちた産業のまち、行政と町民一人ひとりが協力・連携する住み良いまちを目指して参ります。

新たなスタートを切った自然豊かな中泊町の飛躍、発展のため皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

開 庁 式

3月28日7時50分、中泊町役場前にて開庁式が行われました。式では、加藤久宜町長職務執行者が式辞、成田一憲、升田世喜男両県議会議員が祝辞を述べました。その後、中里小学校の児童2人も参加してテープカット、新しい町章と中泊町役場の銘板除幕、町旗掲揚と続きました。最後に参加者全員がジュースで乾杯をして開庁を祝いました。

同じく小泊支所でもテープカット、銘板除幕、町旗掲揚などが行われ、支所の開庁を祝いました。

